

中部・東海エリアで有機農業に取り組む生産者、および関係者の皆さま

## 有機農業新規参入促進事業 中部東海ブロック講習会

寒さ厳しき折、皆さまにおかれましては 2025 年作の片付けや出荷、そして春に向けた準備にお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。今回ご案内する研修会は、国の「有機農業新規参入促進事業」の一環として開催されます。本事業では北海道から九州まで全国 5 か所で同様の講習会を企画しており、各地の生産者が連携して、これからの有機農業に必要な技術や知見を共有し合う場づくりを目指しています。

今回のテーマは「堆肥・有機物施肥の基本を改めて考える」です。

私たち有機農業者が取り組む大きな意義の一つに、社会における「資源の循環」があります。地域から出る有機物を廃棄物にするのではなく、循環ループの中で農地に還し、食料生産に活かすこと。これには大きな価値があります。しかし、理念だけで栽培ができるほど単純ではありません。「有機物だから大丈夫」と無計画に大量投入すれば、土壌のミネラルバランスが崩れて極端なアルカリ化を招いたり、作物が吸収しきれない窒素成分が環境中へ流亡したりと、かえって土と環境を傷める結果にもなりかねません。

適切な循環を実現するためには、客観的で科学的な「指標」が必要です。そこで今回は、農研機構の古賀伸久氏をお招きし、現在開発中の「有機質肥料の窒素肥効の見える化アプリ」をご紹介します。多様な有機物を、いつ、どこに投入すれば、どのように窒素が発現するのか。シミュレーションに基づく施肥設計は、私たちの経営をより確かなものにしてくれるはずです。

開催地となる伊賀地域には、「循環」を高いレベルで実践しているモデルケースがあります。伊賀は古琵琶湖層由来の重粘土質であり、土壌改良のために多くの有機物を必要とする土地柄です。そこで重要な役割を担っているのが、食品残渣の堆肥化に取り組む株式会社エムシーエスです。同社の製造する堆肥は高品質で、都市部生協などの契約産地として有数の規模を誇る伊賀地域の有機農家の多くがその堆肥を活用して土づくりを行っています。単なる産業廃棄物の処分ではなく、地域全体として大きな「有機物循環」が成立しているのがここ伊賀の特徴です。

ここで考えていきたいのは技術的な要素だけではありません。生産者と地域の事業者がどのように提携し、技術や経営の面でレベルアップを図って地域が発展し続けていけるか、そんな「産地」としての有機農業推進の在り方です。本講習会では、古賀氏による科学的なアプローチに加え、エムシーエス社の取り組み、そしてその堆肥を活用する地元農家の事例報告を行います。午前中には、実際に循環の現場を巡るオプションツアー（要事前申込）も企画しました。

科学的な「理論」と、地域で循環する「実践」、そして産地としての「連携」。これからの時代の有機農業について、皆さまと膝を突き合わせて語り合えることを楽しみにしております。なお、当日の様子は後日アーカイブ動画として Web 公開し、全国の生産者と知見をシェアしていく予定です。当日ご都合がつかない方も、まずはぜひ関心をお寄せください。万障お繰り合わせの上、現地でのご参加を心よりお待ちしております。

文責 伊賀ベジタブルファーム株式会社 村山邦彦

有機農業新規参入促進事業

## 中部東海ブロック講習会 開催のご案内

日 時： 2026 年 2 月 25 日（水）

場 所： ゆめテクノ伊賀 テクノホール（伊賀市ゆめが丘 1 丁目 3-3）

テーマ： 「堆肥・有機物施肥の基本を改めて考える（有機窒素物肥効見える化アプリ紹介）」

東海エリアの有機農業者 視察～栽培技術意見交換会

講 師： 農研機構 九州沖縄農業研究センター 古賀伸久氏

事例報告者： 伊賀有機農産供給センター 山口順氏

五段農園／土の学校主宰 高谷裕一郎氏

株式会社エムシーエス（堆肥製造事業者） 林貴寛氏

ファシリテータ： 伊賀ベジタブルファーム(株) 村山邦彦

参集範囲： 愛知、岐阜、三重および周辺地域で有機農業に取り組む生産者、周辺事業者

連携団体： あいち有機ネットワーク、伊賀有機農業推進協議会

伊賀ベジタブルファーム(株) 次代の農と食をつくる会 ほか

申し込み： 下記グーグルフォームからお申込みください

<https://x.gd/Rksb8>

申込フォーム



### 当日スケジュール

10：30 オプショナルツアー集合（ゆめテクノ伊賀）

食品残渣堆肥製造～圃場視察（先着 25 名／別途参加費 1000 円）

13：30 受付

14：00 講演および事例紹介～クロストーク

15：45 参加者全体での意見交換会

17：00 セミナー終了

終了後は有志による懇親会を予定しています。

18：00～ @伊賀流忍者体験施設 万川集海「伊賀忍者饗膳」